

# 令和4年度 宇部工業高等専門学校自己点検・評価結果

## 1 評価

### 評価の概要

宇部工業高等専門学校自己点検表基準1から基準10までの点検項目について、実施状況（各部署による自己点検結果）を『S：特に優れている』  
A：良好である B：概ね良好である C：不十分である』の4段階で評価した。

各基準の自己点検に対する評価の概要を以下に示す。

#### （基準1）教育の内部質保証システム

- ・概ね良好と判断する。
- ・宇部高専の教育に関するアンケートの調査結果を、評価結果に反映した。

#### （基準2）教育組織及び教員・教育支援者等

- ・良好と判断する。
- ・なお、以下の点について、「S：特に優れている」と評価した。  
○教育方法に関するFDを、5月（現カリキュラムにおける課題の検証と改善策の検討）と10月（グループワークのコントロール、テンプレート活用によるファシリテーション技法）に実施し、今後、教育の改善が期待できる。

#### （基準3）学習環境及び学生支援等

- ・良好と判断する。
- ・いじめ防止・対策について点検項目を追加し、いじめ対策委員会の規則・体制を確認し、いじめ対策委員会を定期的に開催している。
- ・なお、以下の点について、「S：特に優れている」と評価した。  
○実習工場において、定期的に機器等の保守点検を実施し、適宜、更新・補充を行い、実験実習・製作依頼等の支援業務に支障のない万全の整備状況である。  
○障害のある学生に対して面談を実施するとともに、入学時に提出する健康調査票に記載のあった学生や出身中学校から障害に関して連絡のあった学生にも修学支援に関する説明を行った。  
○教育コーディネーターが対応した学生のキャリア相談件数は198件（実数60名）であった。また、卒業生に対するUターン支援の一環として、再就職支援を10名に対して実施した。  
○寮生会組織の一つである学力向上委員会が勉強会を自主的に企画・運営している。コロナ禍で中止していたが、今年度3学期から再開し、3・4学期で合計6回実施した。

#### (基準4) 財務基盤及び管理運営

- ・良好と判断する。
- ・なお、以下の点について、「S：特に優れている」と評価した。

○コロナウイルス感染拡大防止のため、適宜リスク管理室会議を開催している。また、学生の欠席状況を保護者に通知する取組みを10月から開始し、学生インシデントを早期に発見するための体制を整備した。

○学内において、新人・配置換SD研修、階層別（課長・副課長）SD研修、事務職員SD研修を各1回実施した。また、機構本部主催のグローバルSD研修（海外派遣研修）に事務職員1名が参加したほか、山口大学主催の階層別（新採用、主任、係長）研修、地区開催の業務別研修など15件にのべ21名の職員が参加した。さらに、創立60周年を機に、職員の資質・意識の更なる向上を図るため、学校運営の有識者を学外から講師に迎え、職員全員を対象としたSD研修会を開催した。

#### (基準5) 準学士課程の教育課程・教育方法

- ・良好と判断する。
- ・前年度に機関評価室が改善を要する点として、作成したシラバスの相互チェック体制が十分といえない点、学修単位科目における学生の授業外学習時間が十分に把握できていない点、及び試験のレベルが適切であるか十分なチェックがなされていない点、を指摘したが、作成したシラバス、及び試験のレベルの相互チェックを各学科に確認に依頼し、授業改善アンケートで学習単位科目の授業外学習時間の調査を行なっている。

#### (基準6) 準学士課程の学生の受け入れ

- ・良好と判断する。
- ・昨年度のアドミッション・ポリシー改正に伴い、令和5年度入学者選抜試験の募集要項、調査書項目、合否判定基準の見直しを行った。

#### (基準7) 準学士課程の学習・教育の成果

- ・良好と判断する。
- ・本年度の就職率及び進学率は、共に100%と高い就職率・進学率を維持しており、本校の学習・教育の成果が認められる

#### (基準8) 専攻科課程の教育活動

- ・良好と判断する。
- ・前年度に機関評価室が改善を要する点として、作成したシラバスの相互チェック体制が十分といえない点、学修単位科目における学生の授業外学習時間が十分に把握できていない点、及び試験のレベルが適切であるか十分なチェックがなされていない点を指摘したが、作成したシラバス、及び試験のレベルの相互チェックを各学科に確認に依頼し、授業改善アンケートで学習単位科目の授業外学習時間の調査を行なっている。
- ・また、本年度の就職率及び進学率は、共に100%と高い就職率・進学率を維持しており、本校の学習・教育の成果が認められる。
- ・なお、以下の点について、「S：特に優れている」と評価した。

○平成30年度に改定された準学士課程のカリキュラムを発展させ、社会からの要請により応えるための新カリキュラムを完成させた。

**(基準9) 研究活動の状況**

- ・良好と判断する。
- ・GEAR5.0への参画及び第4ブロック研究推進ネットワーク等の活動を実施している。

**(基準10) 地域貢献活動等の状況**

- ・良好と判断する。
- ・なお、以下の点について、「S：特に優れている」と評価した。

○U-16プロコン山口大会及び事前講習会を実施した。また、公開講座3件、市民文化サロン3件に加え、宇部祭りへの出展や夏休みジュニア科学教室を実施し、前年度より実施件数が倍増した。

**運営諮問会議における評価と意見**

- ・総合的に良好であるとの評価であった。
- ・ハラスメントや多様性への配慮についての点検項目を検討されているか。

**2 改善を要する点**

**改善を要する点**

B評価とした項目については改善を要すると判断した。

**(基準1) 教育の内部質保証システム**

- 1-14 保護者からの意見聴取を行なっているが、自己点検・評価に十分反映されていない。
- 1-17 進学先教育機関から意見を収集し、反映できる仕組みを整備する必要がある。

また、運営諮問会議における意見をふまえ、ハラスメントや多様性への配慮についての点検項目の導入について、検討を続けることとした。

## 令和4年度宇部工業高等専門学校自己点検・評価

S : 特に優れている A : 良好である B : 概ね良好である C : 不十分である

| 点検項目                                  | 実施計画                                      | 実施状況   | 評価 |
|---------------------------------------|---|--|----|
| <b>基準1 教育の内部質保証システム</b>               |   |  |    |
| <b>【内部質保証】</b>                        |   |  |    |
| 1-1 自己点検・評価の方針は関係法令に適合しているか。          | 自己点検・評価の方針が関係法令に適合しているか確認する。              | 自己点検・評価の方針が関係法令に適合していることを確認した。                   | A  |
| 1-2 自己点検・評価の体制（委員会等）に不備はないか。          | 委員会等の構成を確認する。                             | 適切な体制となっていることを確認した。                              | A  |
| 1-3 自己点検・評価の基準や項目は適切であるか。             | 学校教育法第109条に沿った自己点検・評価の基準及び項目となっているか点検する。  | 適切であることを確認した。                                    | A  |
| <b>【自己点検・評価の実施】</b>                   |   |  |    |
| 1-4 文書管理規則に従い、資料は適切に管理・保管されているか。      | 文書管理規則に従い、適切に管理・保管する。                     | 文書管理規則に従い、各部署において適切に管理・保管している。                   | A  |
| 1-5 自己点検・評価を定期的に実施し、その結果を公表しているか。     | 自己点検・評価を実施し、公表する。                         | 令和3年度自己点検・評価結果を令和4年6月にHPにて公開した。                  | A  |
| <b>【学内意見聴取】</b>                       |   |  |    |
| 1-6 自己点検・評価は教員の意見を反映しているか。            | 教員への意見聴取を実施し、自己点検・評価に反映する。                | 授業改善アンケート報告書兼授業改善計画書及び職務上の活動に関する自己申告書を評価結果に反映した。 | A  |
| 1-7 自己点検・評価は事務職員の意見を反映しているか。          | 事務職員への意見聴取を実施し、自己点検・評価に反映する。              | 各部署の点検結果を評価結果に反映した。                              | A  |
| 1-8 自己点検・評価は技術職員の意見を反映しているか。          | 技術職員への意見聴取を実施し、自己点検・評価に反映する。              | 実験室・演習室の整備状況等の評価結果を反映した。                         | A  |
| 1-9 自己点検・評価は学生の意見を反映しているか。            | 学生への意見聴取を実施し、自己点検・評価に反映する。                | 学生に対する各種アンケートの調査結果を評価結果に反映した。                    | A  |
| 1-10 自己点検・評価は学生の授業評価の結果を踏まえて行っているか。   | 学生の授業評価の結果を自己点検・評価に反映する。さらに、改善に向けた取組みを行う。 | 授業改善アンケートの調査結果を評価結果に反映した。                        | A  |
| 1-11 自己点検・評価は学生の教育・学習の達成度を踏まえて行っているか。 | 学生の教育・学習の達成度を自己点検・評価に反映する。                | 卒業・修了時アンケートの調査結果を評価結果に反映した。                      | A  |
| 1-12 自己点検・評価は学生の学習環境を踏まえて行っているか。      | 本校の教育に関するアンケートを実施し、自己点検・評価に反映する。【令和4年度実施】 | 卒業・修了時アンケートを実施した。                                | A  |
| 1-13 自己点検・評価は学生の満足度を踏まえて行っているか。       | 学生の満足度を自己点検・評価に反映する。                      | 卒業・修了時アンケート及び授業改善アンケートの調査結果を評価結果に反映した。           | A  |

| 点検項目  | 実施計画  | 実施状況   | 評価 |
|---|---|--|----|
| <b>【学外意見聴取】</b>                             |   |  |    |
| 1-14 自己点検・評価に際し、保護者の意見を反映しているか。             | 保護者への意見聴取を実施し、自己点検・評価に反映する。                                     | 保護者会の際に、保護者からの意見を聴取している。今後、聴取した意見を分析し、自己点検・評価に反映する。                                | B  |
| 1-15 自己点検・評価に際し、卒業生の意見を反映しているか。             | 本校の教育に関するアンケートを実施し、自己点検・評価に反映する。【令和4年度実施】                       | 宇部高専の教育に関するアンケートの調査結果を、評価結果に反映した。  | A  |
| 1-16 自己点検・評価に際し、就職先企業の意見を反映しているか。           | 本校の教育に関するアンケートを実施し、自己点検・評価に反映する。【令和4年度実施】                       | 宇部高専の教育に関するアンケートの調査結果を、評価結果に反映した。  | A  |
| 1-17 自己点検・評価に際し、進学先教育機関の意見を反映しているか。         | 本校の教育に関するアンケートを実施し、自己点検・評価に反映する。【令和4年度実施】                       | 技科大から意見を聴取した。今後、進学先教育機関から意見を収集し、反映できる仕組みを整備する。                                     | B  |
| 1-18 自己点検・評価は卒業生・修了生の学習成果の効果を踏まえて行っているか。    | 本校の教育に関するアンケートを実施し、自己点検・評価に反映する。【令和4年度実施】                       | 宇部高専の教育に関するアンケートの調査結果を、評価結果に反映した。  | A  |
| 1-19 自己点検・評価は就職先・進学先における学習成果の効果を踏まえて行っているか。 | 本校の教育に関するアンケートを実施し、自己点検・評価に反映する。【令和4年度実施】                       | 宇部高専の教育に関するアンケートの調査結果を、評価結果に反映した。  | A  |
| 1-20 自己点検・評価結果を改善に結び付ける体制となっているか。           | 各委員会が自己点検・評価結果を改善に結び付けることができる体制となっているか確認する。各部署の改善の取組みを集約し、報告する。 | 各委員会が自己点検・評価結果を改善に結び付けることができる体制となっていることを確認した。                                      | A  |
| 1-21 前回機関別認証評価における「改善を要する点」に対する取組みを継続しているか。 | 令和2年度機関別認証評価における「改善を要する点」に対する取組みを継続する。                          | 令和3年度自己点検・評価結果を令和4年6月にHPにて公開した。また、試験における同一出題の防止、シラバスに沿った評価の徹底について、継続して各学科で取り組んでいる。 | A  |
| 1-22 運営諮詢会議における指摘・コメントに対する対応を行っているか。        | 運営諮詢会議において意見を聴取し、その課題に対する改善を行う。                                 | いじめ対策に関する自己点検項目を追加した。  | A  |
| <b>【3つの方針】</b>                              |   |  |    |
| 1-23 学習・教育目標は適切であるか。                        | 学習・教育目標は適切であるか議論する。また法令やガイドラインの改正等があった場合には適切に対応する。              | 準学士課程、専攻科課程共に審議の結果、適切であり、見直しの必要は無いと判断した。   | A  |
| 1-24 ディプロマポリシー（DP）は適切であるか。                  | DPが適切であるか議論する。また法令やガイドラインの改正等があった場合には適切に対応する。                   | 準学士課程、専攻科課程共に審議の結果、適切であり、見直しの必要は無いと判断した。   | A  |
| 1-25 カリキュラムポリシー（CP）は適切であるか。                 | CPが適切であるか議論する。また法令やガイドラインの改正等があった場合には適切に対応する。                   | 準学士課程、専攻科課程共に審議の結果、適切であり、見直しの必要は無いと判断した。   | A  |
| 1-26 アドミッションポリシー（AP）は適切であるか。                | APが適切であるか議論する。また法令やガイドラインの改正等があった場合には適切に対応する。                   | APの改正を行った。   | A  |

S :特に優れている A :良好である B :概ね良好である C :不十分である

| 点検項目                                   | 実施計画                           | 実施状況   | 評価 |
|--|--------------------------------|--|----|
| 基準2 教育組織及び教員・教育支援者等                    |                                |  |    |
| 【教育に係る組織の体制】                           |                                |  |    |
| 2-1 学科・専攻の構成は適切であるか。                   | 学科・専攻科の構成が適切であるか審議する。          | 入学志願者数及び求人数より、社会のニーズに適した学科・専攻の編成であると判断した。  | A  |
| 2-2 教育活動を展開するための体制が適切に機能しているか。         | 教育活動を展開するための各種委員会を適切に開催する。     | 各種委員会を定期的に実施した。  | A  |
| 【教員】                                   |                                |  |    |
| 2-3 一般科目的教員配置は適切であるか。                  | 一般科目の教員配置が適切であるか検証する。          | 適切に配置されていると判断した。   | A  |
| 2-4 専門科目の教員配置は適切であるか。                  | 専門科目の教員配置が適切であるか検証する。          | 適切に配置されていると判断した。   | A  |
| 2-5 教員の採用は公募により適切に行われているか。             | 公募により教員の採用を行う。                 | 物質工学科1名、一般科3名をすべて公募により採用した。  | A  |
| 2-6 教員の昇任は適切に行われているか。                  | 教員の昇任を適切に行う。                   | 3名（教授1名、准教授2名）の昇任人事を行った。   | A  |
| 2-7 教員の評価は適切に行われているか。                  | 教員の評価を実施する。                    | 自己評価、学生による教員評価、教員相互評価を実施した。  | A  |
| 2-8 教育方法に関するFDが実施されているか。               | 教育方法に関するFDを実施する。               | 5月に教員FDとしてワークショップを実施し、現カリキュラムにおける課題の検証と改善策の検討を行った。<br>10月には、グループアクティビティ系科目であるプロジェクト学習の振り返りと、グループワークのコントロール、テンプレート活用によるファシリテーション技法に関するFDを実施した。  | S  |
| 2-9 FDが教育の改善に結び付いているか。                 | FD後にアンケートを実施し、教育が改善されているか確認する。 | 5月のFDをふまえて教務委員会にて議論を行い、令和5年度から第2学期の前半後半を統合した通常の学期形態に移行し科目配当の再調整を行うことで、学びの継続性及び学期間の学修量の不均衡について改善することができた。さらに、5年生のプロジェクト学習とリサーチワークショップの同時履修が要因となる時間割設計の課題についても解消することができた。<br>10月のFDにおいては、約83%の教員から講習会での学びがあったとの回答があった。紹介されたテンプレート活用術を取り入れている教員は約26%おり、活用していない教員で今後取り入れたいと回答した教員は約92%いたことから、来年度実施のプロジェクト学習のファシリテーション力の向上が期待される。 | S  |
| 【教育支援者】                                |                                |  |    |
| 2-10 教育支援者（事務職員、技術職員、図書館職員）の配置は適切であるか。 | 教育支援者の配置が適切であるか検証する。           | 適切であると判断した。  | A  |
| 2-11 教育支援者に対するSDが実施されているか。             | 学内SDを実施する。また、高専機構等主催のSDに参加する。  | 学内SDを適切に実施した。また、外部主催のSDにも参加させた。  | A  |

S : 特に優れている A : 良好である B : 概ね良好である C : 不十分である

| 点検項目                              | 実施計画  | 実施状況  | 評価 |
|-----------------------------------|---|---|----|
| 基準3 学習環境及び学生支援等                   |   |   |    |
| 【施設・設備】                           |   |   |    |
| 3-1 校地面積は適切であるか。                  | 校地面積が適切であるか検証する。  | 法令に適合している。  | A  |
| 3-2 校舎面積は適切であるか。                  | 校舎面積が適切であるか検証する。  | 法令に適合している。  | A  |
| 3-3 実習工場は適切に整備されているか。             | 機械工作実習に必要な設備・機材を整備・準備する。                                    | 定期的に機器等の保守点検を実施している。また、適宜、更新あるいは補充を行い、実験実習・製作依頼等の支援業務に支障のない万全の整備状況である。さらに、安全対策として、事故防止機構のない装置には対策装置を自作し、学生と教職員の安全性を高めている。 | S  |
| 3-4 各実験室は適切に整備されているか。             | 実験に必要な設備・機材を整備・準備する。  | 学科会議で定期的あるいは必要に応じて審議・確認している。  | A  |
| 3-5 各施設・設備の安全衛生管理体制は機能しているか。      | 定期的に安全衛生委員会を開催する。   | 月に1回安全衛生委員会を実施している。   | A  |
| 3-6 バリアフリー化への配慮を行っているか。           | バリアフリー化への配慮を継続する。   | 適宜実施し、現在必要とされている範囲は整備済みである。   | A  |
| 3-7 施設・設備に関する満足度を調査しているか。         | 施設・設備に対する満足度を調査する。満足度が低い場合は学生、保護者からの要望がある場合は、関係部署に報告し改善を促す。 | 宇部高専の教育に関するアンケートを実施した。施設・設備に関する質問項目を拡充した。   | A  |
| 3-8 施設・設備の満足度を向上するための改善を行っているか。   | 満足度を向上するための改善を行う。   | 要望に応じ随時修繕・補修を実施した。  | A  |
| 【ICT環境】                           |   |   |    |
| 3-9 ICT環境の整備は適切であるか。              | ICT環境を適切に整備する。  | 機構本部の更新計画に基づき、ネットワーク機器の更新を行った。また、教育用電算機の更新を実施した。  | A  |
| 3-10 ICT環境のセキュリティ管理体制は適切に機能しているか。 | 情報セキュリティに関する委員会を適切に開催する。                                    | 情報セキュリティ推進委員会を年4回（5月23日、9月26日、1月23日、3月10日）、情報セキュリティ管理委員会を年3回（5月30日、10月11日、2月7日）、情報処理セキュリティ対策本部会議を年2回（11月7日、1月10日）開催した。    | A  |
| 3-11 ICT環境は有効に活用されているか。           | ICT環境を有効利用する。   | ほとんどの学科、学年において情報処理センターが管理する演習室（計算機室）が利用されている。   | A  |
| 3-12 ICT環境に対する満足度を調査しているか。        | ICT環境の満足度調査を実施する。満足度が低い場合は学生、保護者からの要望がある場合は、関係部署に報告し改善を促す。  | 宇部高専の教育に関するアンケートにおいてICT環境に関する質問項目を拡充した。   | A  |

| 点検項目                                       | 実施計画  | 実施状況   | 評価 |
|--|---|--|----|
| <b>【図書館】</b>                               |   |  |    |
| 3-13 図書、学術雑誌、視聴覚資料等が系統的に収集・整理されているか。       | 図書等を適切に管理するとともに、新規図書等を適切に収集する。                      | 各学科により選定した図書を購入した。   | A  |
| 3-14 図書、学術雑誌、視聴覚資料等は有効に活用されているか。           | 図書等の利用状況を調査する。                                      | 図書館来館者数は25,977名、貸出図書数は3,551冊であった。  | A  |
| 3-15 図書、学術雑誌、視聴覚資料等が有効に活用されるための取組みを行っているか。 | 図書等の利用を促進する取組みを実施する。                                | 図書館HPに新着案内や特集を掲載するとともに、図書館だよりを発行している。  | A  |
| <b>【ガイダンス】</b>                             |   |  |    |
| 3-16 準学士課程の学生に対する教育上のガイダンスを実施しているか。        | 準学士課程の学生に対する教育上のガイダンスの実施マニュアルを確認するとともに、適切に実施する。     | 新入生オリエンテーションを適切に実施した。  | A  |
| 3-17 専攻科の学生に対する教育上のガイダンスを実施しているか。          | 専攻科の学生に対する教育上のガイダンスの実施マニュアルを確認するとともに、適切に実施する。       | 第1学期及び第3学期開始時にオリエンテーションを実施した。  | A  |
| 3-18 編入生に対する教育上のガイダンスを実施しているか。             | 編入生に対する教育上のガイダンスの実施マニュアルを確認するとともに、該当者があれば適切に実施する。   | 今年度は該当なし。令和5年度編入学生に対して、入学式後ガイダンスを行うことを計画した。  | —  |
| 3-19 留学生に対する教育上のガイダンスを実施しているか。             | 留学生に対する教育上のガイダンスの実施マニュアルを確認するとともに、該当者があれば適切に実施する。   | チューターに対するガイダンスを実施した。<br>令和5年度留学生に対して、入学式後ガイダンスを行うことを計画した。  | A  |
| 3-20 障害のある学生に対する教育上のガイダンスを実施しているか。         | 障害のある学生に対する教育上のガイダンスの実施体制を確認するとともに、該当者があれば適切に実施する。  | 障害のある学生に対して面談を実施するとともに、入学時に提出する健康調査票に記載のあった学生や出身中学校から障害に関して連絡のあった学生にも修学支援に関する説明を行った。<br>また、第1回（8月）・第2回（11月）オープンキャンパスでは、事前申込のあった学生・保護者への修学支援に関する個別相談会を実施した。希望があった1名の学生・保護者に対して、10月24日に障害の特性に合わせた個別の授業参観と懇談、学内設備の見学を行った。 | S  |
| 3-21 社会人学生に対する教育上のガイダンスを実施しているか。           | 社会人学生に対する教育上のガイダンスの実施マニュアルを確認するとともに、該当者があれば適切に実施する。 | 今年度は該当なし。過去のガイダンス資料等をマニュアルとして保管している。   | —  |
| <b>【学生のニーズ把握・支援】</b>                       |   |  |    |
| 3-22 担任制・指導教員制は有効に機能しているか。                 | 担任指導、指導教員による指導を行う。                                  | 準学士課程の学生に対しては、担任のしおりを配布し、担任情報共有会を実施した。また、専攻科生に対しては指導教員マニュアルを配布した。  | A  |
| 3-23 オフィスアワーは有効に機能しているか。                   | オフィスアワーを実施し、利用者数を把握する。                              | 前期／後期のオフィスアワーを実施した。年度末に利用実績を調査した。  | A  |
| 3-24 保健室は有効に機能しているか。                       | 保健室の利用状況を把握する。                                      | 保健室利用者は延べ858人であった。   | A  |

S :特に優れている A :良好である B :概ね良好である C :不十分である

| 点検項目                                    | 実施計画                                      | 実施状況  | 評価 |
|---|---|---|----|
| 3-25 相談室は有効に機能しているか。                    | 相談室の利用状況を把握する。                            | スクールカウンセラー2名・スクールソーシャルワーカー1名が対応した学生・保護者からの相談件数は250件であった。他に、教職員等が相談するケースも143件ある。学生相談室長・学生相談室員と保健室は「学生相談室リスト」を作成して利用状況を把握し、情報共有を図り、教職員と連携して学生の支援や見守りを行っている。 | A  |
| 3-26 キャリア支援室は有効に機能しているか。                | キャリア支援室の利用状況を把握する。                        | 教育コーディネーターが対応した学生のキャリア相談件数は198件(実数60名)であった。また、卒業生に対するUターン支援の一環として、再就職支援を10名に対して実施した。  | S  |
| 3-27 (障害学生) 修学支援は有効に機能しているか。            | ウォッチリスト等により対象学生を把握するとともに支援状況を適宜学科に報告する。   | 修学支援室にて対象学生のウォッチリストを作成するとともに、個人情報を留意しながら当該リストを活用して運営委員会や各学科訪問等で情報共有を図り、学内で連携して学生の支援や見守りを行っている。  | A  |
| 3-28 学生への経済的支援(授業料免除、各種奨学金)は有効に機能しているか。 | 実績を把握する。                                  | 73名が授業料免除を受け、民間奨学金を19名が利用した。  | A  |
| 3-29 資格・検定試験支援制度は有効に機能しているか。            | 実績を把握する。                                  | 資格取得奨励制度を90名が利用した。  | A  |
| 3-30 海外への留学支援は有効に機能しているか。               | 実績を把握する。                                  | ガイダンス実施した。  | A  |
| 3-31 学生会あるいは学生との懇談会を実施しているか。            | 学生会との懇談会を実施する。                            | 9月20日(火)および1月21日(土)に学生会リーダー研修を実施した。学生主事及び学生主事補がTeamsで学生会と密に連絡を取り、学生会の意見を聞くとともに、状況を確認している。   | A  |
| 【キャリア指導・支援】                             |   |   |    |
| 3-32 進路指導ガイダンスを実施しているか。                 | ジェネリックスキルにおいてキャリア教育を実施する。                 | 第1学期ホームルームにて実施した。   | A  |
| 3-33 進学・就職に関する説明会を実施しているか。              | 進学・就職に関する説明会を実施する。就職・進学活動に関するガイドブックを配布する。 | 1月13日(金)実施の「進学・就職活動のメンタルヘルス講習会」にて、キャリア支援室長及び教育CDが進学・就職に関する説明を行い、就職進学活動ガイドブック2023年度版を配布した。   | A  |
| 【課外活動】                                  |   |   |    |
| 3-34 課外活動に対する支援は有効に機能しているか。             | 学生会を通じた活動費の配分や学外コーチの採用などの支援を行う。           | 課外活動費を配分している。学外コーチを配置し支援を行っている。   | A  |
| 3-35 課外活動に対する責任体制は適切であるか。               | 責任体制を明確にするとともに、教員と学生に周知する。                | 各クラブに1~3人の顧問を配置するとともに、活動時間中は学生主事又は学生主事補が緊急対応ができる体制としている。  | A  |
| 3-36 課外活動に対する責任体制は有効に機能しているか。           | 責任体制が有効に機能しているか検証する。                      | 4月13日および3月28日にクラブ指導教員会議を実施した。また、対外的な活動に関し、対抗競技参加願や合宿許可願が事前に提出され、事後には課外活動指導報告書も適切に提出されている。   | A  |

| 点検項目                                    | 実施計画   | 実施状況   | 評価 |
|---|--|--|----|
| <b>【学生寮】</b>                            |  |  |    |
| 3-37 学生寮は生活の場として有効に機能しているか。             | 生活の場として有効に機能しているか検証する。満足度調査等の結果が悪い場合または学生、保護者からの要望がある場合は、改善に努める。 | 有効に機能していると判断した。  | A  |
| 3-38 学生寮は勉学の場として有効に機能しているか。             | 勉学の場として有効に機能しているか検証する。学習室の利用状況及びSMAPの活動状況を調査する。                  | 寮生会組織の一つである学力向上委員会が勉強会を自主的に企画・運営している。コロナ禍で中止していたが、今年度3学期から再開し、11月に1・2年生合同勉強会を3・4学期で合計6回実施した。 | S  |
| 3-39 学生寮の管理・運営体制は有効に機能しているか。            | 管理・運営体制が有効に機能しているか検証する。  | 有効に機能していると判断した。  | A  |
| <b>【いじめ防止・対策】</b>                       |  |  |    |
| 3-40 いじめ防止・対策のための体制が整備されているか。           | いじめ対策委員会の規則及び体制が適切か確認する。   | 4月22日にいじめ対策委員会を実施し、令和4年度のいじめ防止プログラムについて審議した。3月24日のいじめ対策委員会において、令和4年度のいじめ防止プログラムの検証を行った。      | A  |
| 3-41 いじめ防止・対策の組織が有効に機能しているか。            | いじめ対策委員会を定期的に開催する。   | 4月22日、7月22日、12月14日および3月24日にいじめ対策委員会を実施した。  | A  |
| <b>基準4 財務基盤及び管理運営</b>                   |  |  |    |
| <b>【財務】</b>                             |  |  |    |
| 4-1 貸借対照表等による財務状態は適切であるか。               | 適切な会計処理を実施する。  | 適切な会計処理を実施した。  | A  |
| 4-2 運営費交付金、授業料、入学料、検定料等の経常的な収入を確保しているか。 | 適切な会計処理を実施する。  | 適切な会計処理を実施した。  | A  |
| 4-3 収支状況が支出超過となっていないか。                  | 適切な会計処理を実施する。  | 適切な会計処理を実施した。  | A  |
| 4-4 収支に係る方針、計画が適切なプロセスで決定されているか。        | 適切なプロセスで予算を決定する。   | 5/30、9/27及び3/28に予算委員会を実施し、戦略的かつ計画的な予算管理を目的とした配分を行った。   | A  |
| 4-5 収支に係る方針、計画は適切であるか。                  | 予算計画が適切であるか検証する。   | 適切であるであると判断した。   | A  |
| 4-6 収支に係る方針、計画は教職員に明示されているか。            | 予算計画を教職員に明示する。   | サイボウズにより教職員に明示した。  | A  |
| 4-7 収支に係る方針、計画と資源配分が整合しているか。            | 予算と資源配分の整合性を検証する。  | 整合していると判断した。   | A  |
| 4-8 財務状況が法令に基づき適切に作成・公表されているか。          | 財務状況を作成し、公表する。   | 学校要覧により公表した。   | A  |
| 4-9 財務に係る監査が適切に実施されているか。                | 適切な監査を実施する。  | 1/19に高専相互会計内部監査、及び1/23・24に会計監査人監査を受検した。10/25～1/31に内部監査を実施した。                                 | A  |

| 点検項目                             | 実施計画                         | 実施状況  | 評価 |
|----------------------------------|------------------------------|---|----|
| <b>【管理運営】</b>                    |                              |   |    |
| 4-10 管理運営体制が有効に機能しているか。          | 管理運営体制が有効に機能しているか検証する。       | 機能していると判断した。  | A  |
| 4-11 管理運営に係る委員会が有効に機能しているか。      | 管理運営に係る委員会が有効に機能しているか検証する。   | 毎週火曜日に組織・運営検討委員会、及び月1回運営委員会を実施した。また、会議資料や議事概要は、サイボウズに掲載し、全教職員に明示した。   | A  |
| 4-12 校長、主事等の役割分担は適切であるか。         | 校長、主事等の役割分担が適切であるか検証する。      | 機能していると判断した。  | A  |
| 4-13 教員と事務職員の役割分担は適切であるか。        | 教員と事務職員の役割分担が適切であるか検証する。     | 機能していると判断した。  | A  |
| 4-14 教員と事務職員との連携体制が有効に機能しているか。   | 教員と事務職員の連携体制が有効に機能しているか検証する。 | 有効に機能していると判断した。   | A  |
| <b>【危機管理】</b>                    |                              |   |    |
| 4-15 危機管理体制は有効に機能しているか。          | 危機管理体制が有効に機能しているか検証する。       | コロナウイルス感染拡大防止のため、適宜リスク管理室会議を開催している。また、学生の欠席状況を保護者に通知する取組みを10月から開始し、学生インシデントを早期に発見するための体制を整備した。  | S  |
| 4-16 危機管理マニュアルは適切であるか。           | 危機管理マニュアルを点検する。必要があれば見直しを行う。 | 適切であると判断した。   | A  |
| 4-17 危機に備えた訓練を実施しているか。           | 校舎地区及び学寮地区において避難訓練を実施する。     | 11月17日（木）に学寮の防火・避難訓練を予定していたが、新型コロナウイルス感染者の多数発生により、さくら連絡網を利用した図上訓練（1月11日）に変更し実施した。   | A  |
| <b>【外部資金の活用】</b>                 |                              |   |    |
| 4-18 外部資金を獲得する取組みを行っているか。        | 外部資金獲得のための講演会や説明会を実施する。      | 外部講師を招聘し、学内で科研費説明会（7月29日）を実施した。科研費申請書のブラッシュアップ、寄付金HPのリニューアルを実施した。   | A  |
| 4-19 公的資金が適切に管理されているか。           | 公的資金を適切に管理する。                | 適切に管理した。  | A  |
| 4-20 公的資金を適切に使用するための取組みが行われているか。 | 公的資金の不正使用防止のための研修を実施する。      | 全教職員を対象とした公的資金の適正使用に関する研修を3月に実施した。  | A  |
| <b>【外部教育資源の活用】</b>               |                              |   |    |
| 4-21 外部の教育資源を有効に活用しているか。         | 外部教育資源を有効活用する。               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ジェネリックスキルの授業で、ワクワク未来デジタル講座、企業人・研究者講話を取り入れて実施している。</li> <li>・高専事業による提供教材（K-DASH、K-SEC）を授業で活用している。</li> <li>・情報モラル講習会、薬物乱用防止講習会、性教育について、学外の専門家に講演を依頼している。</li> <li>・クラブ活動では課外活動指導員や学外コーチに指導を依頼している。</li> <li>・宇部高専T&amp;Bとの連携、テクノフェア・テクノカフェ等の実施による産学官の連携を行なっている。</li> <li>・マラ工科大学と覚書を締結した。</li> </ul> | A  |

| 点検項目  | 実施計画  | 実施状況  | 評価 |
|---|---|---|----|
| <b>【スタッフ・ディベロップメント】</b>   |   |   |    |
| 4-22 SDが適切に実施されているか。  | 学内SDを実施する。また、機構主催のSDに職員を派遣する。                   | 学内において、体系法規の仕組みや組織づくり、文書作成及び規則等の改廃手続きなどをテーマとして、新人・配置換SD研修、階層別（課長・副課長）SD研修、事務職員SD研修を各1回実施した。また、本校のグローバル化対応のため、機構本部主催のグローバルSD研修（海外派遣研修）に事務職員1名を参加させたほか、山口大学主催の階層別（新採用、主任、係長）研修、地区開催の業務別研修など、15件のべ21名の職員を参加させた。さらに、創立60周年を機に、職員の資質・意識の更なる向上を図るために、学校運営の有識者を学外から講師に迎え、職員全員を対象としたSD研修会を開催した。 | S  |
| <b>【情報公開】</b>   |   |   |    |
| 4-23 法令に従い、学校の目的及び3つの方針が公表されているか。   | 学校の目的及び3つの方針をHPにより公開する。                         | HPにて公表している。   | A  |
| 4-24 法令に従い、教育研究上の基本組織が公表されているか。   | 組織図をHPにより公開する。                                  | HPにて公表している。   | A  |
| 4-25 法令に従い、教員組織、教員の数並びに教員が保有する学位及び業績が公表されているか。                                  | 教員組織、教員の数、学位、業績をHPにより公表する。                      | HPにて公表している。   | A  |
| 4-26 法令に従い、入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況が公表されているか。 | 各種データを学校要覧に記載するとともにHPにより公開する。                   | HP、学校要覧にて公表している。  | A  |
| 4-27 法令に従い、授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画が公表されているか。                                  | シラバース一覧、シラバス及び行事予定表をHPにより公開する。                  | HPにて公表している。   | A  |
| 4-28 法令に従い、学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準が公表されているか。                              | 成績評価基準、卒業・修了認定基準をHP（学則・教務規則）により公開する。            | HPにて公表している。   | A  |
| 4-29 法令に従い、校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境が公表されているか。                                 | 学校の施設・設備及び教育研究環境をHP（学校要覧）により公開する。               | HP、学校要覧にて公表している。  | A  |
| 4-30 法令に従い、授業料、入学料その他の高等専門学校が徴収する費用が公表されているか。                                   | 授業料、入学料その他の費用をHP（学校案内）により公開する。                  | HP、学校案内にて公表している。  | A  |
| 4-31 法令に従い、高等専門学校が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援が公表されているか。                           | 修学支援室、キャリア支援室、学生相談室及び保健室等の支援体制をHP（学校要覧）により公開する。 | HP、学校要覧にて公表している。  | A  |
| 4-32 学校の目的及び3つの方針が教職員、学生に周知されているか。  | 学校の目的及び3つの方針を学内関係者に周知するとともにHPにより公開する。           | HPにて公表している。   | A  |

S :特に優れている A :良好である B :概ね良好である C :不十分である

| 点検項目  | 実施計画  | 実施状況   | 評価 |
|---|---|--|----|
| 基準5 準学士課程の教育課程・教育方法                                     |   |  |    |
| 【教育課程の編成・内容・方法】   |   |  |    |
| 5-1 カリキュラムポリシーに照らし、授業科目の配置は適切であるか。                      | 授業科目の配置が適切であるか各学科で点検する。                                     | 適切であると判断した。  | A  |
| 5-2 一般教育は充実しているか。                                       | 一般教育が充実しているか各学科で点検する。                                       | 適切であると判断した。  | A  |
| 5-3 進級に関する規定は適切であるか。                                    | 進級に関する規定が適切であるか確認する。  | 適切であると判断した。  | A  |
| 5-4 授業を行う期間は35週が確保されているか。                               | 35週を確保する。   | 行事予定表を作成する際に確認している。  | A  |
| 5-5 特別活動は90単位時間以上確保されているか。                              | 90単位時間以上確保する。   | ホームルーム実施計画表を作成する際に確認している。  | A  |
| 5-6 学生の多様なニーズ、学術の発展の動向、社会からの要請等を踏まえた教育課程における配慮がなされているか。 | 学生の多様なニーズ、学術の発展の動向、社会からの要請を踏まえ、教育課程における配慮を行う。               | グローバルエンジニア育成事業における英語による授業を実施した。<br>地域教育において小中学校への出前授業、地域課題解決の取り組みを行った。 | A  |
| 5-7 創造力を育む教育方法の工夫を行っているか。                               | 創造力を育む教育方法の工夫を行う。   | プロジェクト学習を実施することで創造力を育んでいる。   | A  |
| 5-8 実践力を育む教育方法の工夫を行っているか。                               | 実践力を育む教育方法の工夫を行う。   | 卒業研究を実施することで実践力を育んでいる。   | A  |
| 【授業形態・学習指導法】  |   |  |    |
| 5-9 カリキュラムポリシーに照らして講義、演習、実験・実習が適切に配置されているか。             | 講義、演習、実験・実習の配置について各学科で点検する。学生、保護者の満足度が低い場合及び要望がある場合は改善に努める。 | 適切であると判断した。  | A  |
| 5-10 教育内容に応じて学習指導上の工夫がなされているか。                          | 学習指導上の工夫を行う。工夫が不十分な場合は、改善を促す。                               | 授業改善アンケート兼授業改善計画書の結果を改善につなげている。  | A  |
| 5-11 シラバスが適切に作成されているか。                                  | シラバス作成マニュアルを配布し、シラバスを適切に作成する。作成したシラバスの相互チェックの仕組みを整備する。      | シラバスを適切に作成して、Webシラバスで公開している。<br>シラバスの相互チェック結果を成績資料点検表に記載することにした。       | A  |
| 5-12 学生はシラバスを有効に活用しているか。                                | 活用状況が悪い場合は改善に向けた取組みを行う。                                     | 授業改善アンケート集計結果により調査している。  | A  |
| 5-13 教員はシラバスを有効に活用しているか。                                | 活用状況が悪い場合は改善に向けた取組みを行う。                                     | 授業改善アンケート兼授業改善計画書の結果を改善につなげている。  | A  |

S :特に優れている A :良好である B :概ね良好である C :不十分である

| 点検項目   | 実施計画  | 実施状況   | 評価 |
|--|---|--|----|
| 5-14 シラバスは適切に改善されているか。                       | シラバスの改善状況を調査する。   | シラバスの相互チェック結果を成績資料点検表に記載することにした。                       | A  |
| 5-15 学修単位科目における履修時間の実質化のための取組みが適切に行われているか。   | 学修単位科目における履修時間の実質化のための取組みを行う。事前・事後課題一覧表の提出率を上げるための取組みを行う。       | 授業開始時に事前・事後学習課題一覧を成績資料点検ファイルに綴じることにしている。               | A  |
| 5-16 学修単位科目における学生の授業外学習時間を把握しているか。           | 学修単位科目における授業外学習時間を把握する。学習時間に大幅な過不足がある場合は改善の取組みを行う。              | 授業改善アンケート集計結果で把握し、授業改善アンケート兼授業改善計画書で整理のうえ改善につなげている。    | A  |
| <b>【成績評価・単位認定・卒業認定】</b>                      |   |  |    |
| 5-17 成績評価に関する基準に基づき、適切に成績評価が行われているか。         | 適切に成績評価を行う。各学科で点検し、議事要旨に記載する。                                   | 各学科で点検し、適切であると判断した。                                    | A  |
| 5-18 単位認定に関する基準に基づき、適切に単位認定が行われているか。         | 適切に単位認定を行う。   | 適切であると判断した。  | A  |
| 5-19 成績評価・単位認定に関する基準に関する学生の認知状況を把握しているか。     | 成績評価基準及び単位認定基準に関する学生の認知状況を把握する。                                 | 教育に関するアンケートを実施し、認知状況を把握した結果、9割以上の学生がある程度把握していることを確認した。 | A  |
| 5-20 試験後に答案を返却し、模範解答を示しているか。                 | 試験後に答案を返却し、模範解答を示す。   | 試験後に答案を返却し、模範解答を示した。                                   | A  |
| 5-21 試験のレベルが適切であるかチェックがなされているか。              | 試験のレベルが適切であるか点検する。試験のレベルの相互チェックを行う仕組みを整備する。点検結果は学科会議の議事要旨に記載する。 | 各学科で点検し、適切であると判断した。                                    | A  |
| 5-22 複数年度にわたり同一試験問題が繰り返されていないかのチェックがなされているか。 | 複数年度にわたり同一試験問題が繰り返されていないか点検する。点検結果は学科会議の議事要旨に記載する。              | 各学科で点検し、適切であると判断した。                                    | A  |
| 5-23 卒業認定基準を学生に周知しているか。                      | 卒業認定基準を学生に周知する。   | 入学時に配布する学生便覧および学校HPに教務規則を掲載することで周知した。                  | A  |
| 5-24 卒業認定基準について、学生の認知状況を把握する取組みがなされているか。     | 卒業認定基準の周知状況をアンケートにより調査する。                                       | 授業改善アンケートで調査した。  | A  |

S :特に優れている A :良好である B :概ね良好である C :不十分である

| 点検項目   | 実施計画  | 実施状況  | 評価 |
|--|---|---|----|
| 基準 6 準学士課程の学生の受け入れ                               |   |   |    |
| 【準学士課程の学生の受け入れ】                                  |   |   |    |
| 6-1 アドミッションポリシーに沿った学力選抜試験が実施されているか。              | APに沿った学力選抜試験を実施する。                                      | 昨年度のAP改正に伴い、令和5年度入学者選抜試験の募集要項、調査書項目の見直しを行った。        | A  |
| 6-2 アドミッションポリシーに沿った推薦選抜試験が実施されているか。              | APに沿った推薦選抜試験を実施する。                                      | 昨年度のAP改正に伴い、令和5年度入学者選抜試験の募集要項、調査書項目、合否判定基準の見直しを行った。 | A  |
| 6-3 アドミッションポリシーに沿った帰国子女選抜試験が実施されているか。            | APに沿った帰国子女選抜試験を実施する。                                    | 昨年度のAP改正に伴い、令和5年度入学者選抜試験の募集要項、調査書項目、合否判定基準の見直しを行った。 | A  |
| 6-4 入学した学生がアドミッションポリシーに沿っているかの検証がなされているか。        | 入学生がAPに沿っているか検証する。特に、推薦選抜試験による入学者に対しては、採点基準が適切であるか分析する。 | 活動記録の評価と入学後の成績の相関を分析した。                             | A  |
| 6-5 検証した結果が改善に役立てられているか。                         | 検証結果をもとに次年度の実施計画における改善計画を策定する。                          | 継続審議することとした。  | A  |
| 6-6 入学定員に対し、入学者数は適切であるか。                         | 入学定員に対する入学者数を調査する。                                      | 各学科の令和4年度入学者数は、定員40名に対して、41~43名であり、適切であると判断した。      | A  |
| 6-7 入学定員に対し、入学者数が大幅に不足または超過した場合に、改善の取組みがなされているか。 | 入学定員に対する入学者数に大きな過不足があった場合には、次年度の実施計画における改善計画を策定する。      | 今年度は該当なし。   | —  |
| 基準 7 準学士課程の学習・教育の成果                              |   |   |    |
| 【準学士課程の学習・教育の成果】                                 |   |   |    |
| 7-1 成績評価・卒業認定の結果から学習・教育の成果が認められるか。               | 卒業及び進級認定会議を実施する。  | 卒業認定会議及び進級認定会議を実施した。                                | A  |
| 7-2 卒業時の意見聴取の結果から学習・教育の成果が認められるか。                | 卒業時アンケートの調査結果をもとに改善の取組みを行う。                             | 令和6年度カリキュラム改訂のワーキンググループを結成し、意見交換を始めた。               | A  |
| 7-3 卒業生からの意見聴取の結果から学習・教育の成果が認められるか。              | 本校の教育に関するアンケートの調査結果をもとに改善の取組みを行う。【令和4年度実施】              | 本校の教育に関するアンケートの調査を実施した。その結果を基に改善の必要性について検討した。       | A  |

S : 特に優れている A : 良好である B : 概ね良好である C : 不十分である

| 点検項目  | 実施計画   | 実施状況   | 評価 |
|---|--|--|----|
| 7-4 就職先からの意見聴取の結果から学習・教育の成果が認められるか。         | 本校の教育に関するアンケートの調査結果をもとに改善の取組みを行う。【令和4年度実施】             | 本校の教育に関するアンケートの調査を実施した。その結果を基に改善の必要性について検討した。  | A  |
| 7-5 進学先からの意見聴取の結果から学習・教育の成果が認められるか。         | 本校の教育に関するアンケートの調査結果をもとに改善の取組みを行う。【令和4年度実施】             | 本校の教育に関するアンケートの調査を実施した。その結果を基に改善の必要性について検討した。  | A  |
| 7-6 就職率から学習・教育の成果が認められるか。                   | 就職率を算出する。  | 令和4年度の就職率は100%であった。  | A  |
| 7-7 進学率から学習・教育の成果が認められるか。                   | 進学率を算出する。  | 令和4年度の進学率は100%であった。  | A  |
| 7-8 就職先、進学先は学科が養成しようとする人材像に適したものとなっているか。    | 各学科のDPと就職先及び進学先との整合性について検証する。検証結果は学科会議議事要旨に記載する。       | 学科会議において就職先・進学先一覧を提示し、情報を共有した。   | A  |
| 基準8 専攻科課程の教育活動                              |  |  |    |
| 【教育課程の編成・内容・方法】                             |  |  |    |
| 8-1 カリキュラムポリシーに照らし、適切な授業配置となっているか。          | 授業科目の配置が適切であるか点検する。                                    | 適切であると判断した。  | A  |
| 8-2 専攻科の教育課程は準学士課程の教育と連携し、発展した構成となっているか。    | 専攻科の教育課程が準学士課程の教育と連携し、発展した構成となっているか点検する。               | 平成30年度に改定された準学士課程のカリキュラムを発展させ、社会からの要請により応えるための新カリキュラムを策定した。数年かけて検討を行い、令和3年度末に大枠を決定、令和4年度にシラバスの内容を作成することで令和5年度から適用するカリキュラムを完成させた。 | S  |
| 【授業形態・学習指導法】                                |  |  |    |
| 8-3 カリキュラムポリシーに照らして講義、演習、実験・実習が適切に配置されているか。 | 講義、演習、実験・実習の配置について確認する。                                | 適切に配置していると判断する。  | A  |
| 8-4 教育内容に応じて学習指導上の工夫がなされているか。               | 学習指導上の工夫を行う。実施事項は職務上の活動に関する自己申告書に記載する。                 | 教材の工夫、少人数教育、フィールド型、対話型の授業を実施した。  | A  |
| 8-5 学生への教養教育や研究指導が適切に行なわれているか。              | 教養教育や研究指導を適切に行う。満足度が低い場合には改善に努める。                      | 適切であると判断した。  | A  |
| 8-6 シラバスが適切に作成されているか。                       | シラバス作成マニュアルを配布し、シラバスを適切に作成する。作成したシラバスの相互チェックの仕組みを整備する。 | シラバス作成マニュアルが配布されており、適切に作成されていると判断した。   | A  |

S :特に優れている A :良好である B :概ね良好である C :不十分である

| 点検項目  | 実施計画   | 実施状況  | 評価 |
|---|--|---|----|
| 8-7 学生はシラバスを有効に活用しているか。   | 活用状況が悪い場合は改善に向けた取組みを行う。  | 授業改善アンケート集計結果により調査している。   | A  |
| 8-8 教員はシラバスを有効に活用しているか。   | 活用状況が悪い場合は改善に向けた取組みを行う。  | 授業改善アンケート兼 授業改善計画書の結果を改善につなげている。                                      | A  |
| 8-9 シラバスは適切に改善されているか。   | シラバスの改善状況を調査する。  | ループリックのレベル項目を見直した。<br>シラバス作成時の専攻内のチェックにより改善する。                        | A  |
| 8-10 学修単位科目における履修時間の実質化のための取組みが適切に行われているか。                                    | 学修単位科目における履修時間の実質化のための取組みを行う。事前・事後課題一覧を保管するとともに、学科ごとに点検し、点検結果を学科会議議事要旨に記載する。 | 事前・事後学習課題一覧の作成・提示により適切に行われていると判断した。                                   | A  |
| 8-11 学修単位科目における学生の授業外学習時間を把握しているか。  | 学修単位科目における授業外学習時間を把握する。学習時間に大幅な過不足がある場合は改善の取組みを行う。                           | 授業改善アンケート集計結果で把握し、授業改善アンケート兼 授業改善計画書で整理のうえ改善につなげている。                  | A  |
| 【成績評価・単位認定・卒業認定】  |  |   |    |
| 8-12 成績評価に関する基準に基づき、適切に成績評価が行われているか   | 適切に成績評価を行う。各学科で点検し、議事要旨に記載する。  | 評価割合をシラバスに記載し、これに基づき評価を行った。   | A  |
| 8-13 単位認定に関する基準に基づき、適切に単位認定が行われているか。  | 適切に単位認定を行う。  | 修了認定会議を実施した。  | A  |
| 8-14 成績評価・単位認定に関する基準に関する学生の認知状況を把握しているか。                                      | 成績評価基準及び単位認定基準に関する学生の認知状況を把握する。  | 教育に関するアンケートを実施し、認知状況を把握した結果、9割以上の学生がある程度把握していることが確認できた。               | A  |
| 8-15 試験後に答案を返却し、模範解答を示しているか。  | 試験後に答案を返却し、模範解答を示す。  | 各教員が答案返却及び模範解答提示を行っており、授業改善アンケート報告兼授業改善計画書に記載している。                    | A  |
| 8-16 試験のレベルが適切であるか点検する。試験のレベルの相互チェックを行う仕組みを整備する。専攻科委員会や学科会議にて審議し、会議議事要旨に記載する。 | 試験のレベルが適切であるか点検する。試験のレベルの相互チェックを行う仕組みを整備する。専攻科委員会や学科会議にて審議し、会議議事要旨に記載する。     | 各学科において試験問題の点検を行い、学科会議議事録に記載した。                                       | A  |
| 8-17 複数年度にわたり同一試験問題が繰り返されていないかのチェックがなされているか。                                  | 複数年度にわたり同一試験問題が繰り返されていないか点検する。点検結果は学科会議議事要旨に記載する。                            | 各学科において複数年に渡る同一問題の点検を行い、学科会議議事録に記載した。                                 | A  |
| 8-18 修了認定基準を学生に周知しているか。   | 修了認定基準を学生に周知する。  | オリエンテーションの時に学生に周知している。また、入学時に配布する学生便覧および学校HPに履修等に関する規則を掲載することで周知している。 | A  |
| 8-19 修了認定基準について、学生の認知状況を把握する取組みがなされているか。                                      | 修了認定基準に関する学生の認知状況を把握する。  | アンケートにより把握している（80%が認知していると回答）。  | A  |

| 点検項目  | 実施計画   | 実施状況   | 評価 |
|---|--|--|----|
| <b>【専攻科課程の学生の受け入れ】</b>                            |  |  |    |
| 8-20 アドミッションポリシーに沿った学力選抜試験が実施されているか。              | APに沿った学力選抜試験を実施する。                                 | 実施されていると判断した。  | A  |
| 8-21 アドミッションポリシーに沿った推薦選抜試験が実施されているか。              | APに沿った推薦選抜試験を実施する。                                 | 実施されていると判断した。  | A  |
| 8-22 アドミッションポリシーに沿った社会人選抜試験が実施されているか。             | APに沿った社会人選抜試験を実施する。                                | 募集を行ったが、志願者はなかった。  | —  |
| 8-23 入学した学生がアドミッションポリシーに沿っているかの検証がなされているか。        | 入学生がAPに沿っているか検証する。                                 | 第14回専攻科委員会において審議し、入学生はアドミッションポリシー（～令和4年度）に沿っていると判断した。  | A  |
| 8-24 検証した結果が改善に役立てられているか。                         | 検証結果をもとに次年度の実施計画における改善計画を策定する。                     | 令和4年度までのAPは適切であると判断したが、DPおよびCPの改定に伴い、APの改定を実施した（令和5年度より運用）。  | A  |
| 8-25 入学定員に対し、入学者数は適切であるか。                         | 入学定員に対する入学者数を調査する。                                 | 適切であると判断する。  | A  |
| 8-26 入学定員に対し、入学者数が大幅に不足または超過した場合に、改善の取組みがなされているか。 | 入学定員に対する入学者数に大きな過不足があった場合には、次年度の実施計画における改善計画を策定する。 | 入学定員の安定化について検討中である。  | A  |
| <b>【専攻科課程の学習・教育の成果】</b>                           |  |  |    |
| 8-27 成績評価・修了認定の結果から学習・教育の成果が認められるか。               | 修了認定会議を実施する。                                       | (起業により退学した1名を除き) 27名全員が修了認定されており、学習・教育の成果が認められると判断した。  | A  |
| 8-28 修了時の意見聴取の結果から学習・教育の成果が認められるか。                | 修了時アンケートの調査結果をもとに改善の取組みを行う。                        | アンケート調査結果より成果が認められると判断した（学習・教育到達目標に掲げる能力が身についたと回答した学生の割合は90%超）   | A  |
| 8-29 修了生からの意見聴取の結果から学習・教育の成果が認められるか。              | 本校の教育に関するアンケートの調査結果をもとに改善の取組みを行う。【令和4年度実施】         | アンケート調査結果より成果が認められると判断した（学習・教育到達目標に掲げる能力が身についたと回答した学生の割合は概ね85%超）   | A  |
| 8-30 就職先からの意見聴取の結果から学習・教育の成果が認められるか。              | 本校の教育に関するアンケートの調査結果をもとに改善の取組みを行う。【令和4年度実施】         | アンケート調査結果より成果が認められると判断した（学習・教育到達目標に掲げる能力に満足していると回答した起業の割合は概ね80%超）  | A  |
| 8-31 進学先からの意見聴取の結果から学習・教育の成果が認められるか。              | 本校の教育に関するアンケートの調査結果をもとに改善の取組みを行う。【令和4年度実施】         | 学校説明会のため来校された進学先の教員への聞き取り結果より成果が認められると判断した。なお、今年度のアンケートに際しては進学先に対する調査は実施していないが、次回は入学生が比較的多い大学を選定し、アンケート調査の依頼を機関評価室に依頼する。 | A  |
| 8-32 就職率から学習・教育の成果が認められるか。                        | 就職率を算出する。  | 就職率が100%となっており、学修・教育の成果が認められる。   | A  |
| 8-33 進学率から学習・教育の成果が認められるか。                        | 進学率を算出する。  | 進学率は100%となっており、学修・教育の成果が認められる。   | A  |
| 8-34 就職先、進学先は学科が養成しようとする人材像に適したものとなっているか。         | 各専攻のDPと就職先及び進学先との整合性について検証する。                      | 学科会議において、就職先及び進学先が適していることを確認した。  | A  |

S :特に優れている A :良好である B :概ね良好である C :不十分である

| 点検項目                                 | 実施計画   | 実施状況   | 評価 |
|--------------------------------------|--|--|----|
| 基準9 研究活動の状況                          |  |  |    |
| 【研究活動の体制】                            |  |  |    |
| 9-1 研究活動の目的、方針は適切であるか。               | 本校の研究活動の目的及び方針が適切であるか確認する。   | 適切であると判断した。  | A  |
| 9-2 研究活動の目的を達成するための体制は有効に機能しているか。    | 研究活動の目的を達成するための方策等を委員会及び推進室会議において審議する。                               | 地域共同テクノセンター委員会及び同センター推進室会議を定期的に実施した。   | A  |
| 【研究活動の状況】                            |  |  |    |
| 9-3 研究活動が十分に行われているか。                 | 研究活動の状況を把握する。  | GEAR5.0への参画及び第4ブロック研究推進ネットワーク等の活動を実施した。  | A  |
| 【研究活動の成果】                            |  |  |    |
| 9-4 目的、方針に沿った研究活動の成果が得られているか。        | 本校の目的に沿った研究成果であるか確認する。また、成果は地域共同テクノセンターNews & Reportsに集約し、公表する。      | 地域共同テクノセンター委員会において、研究活動の集約結果を提示し、本校の目的に沿っているか確認した。また、成果は地域共同テクノセンターNews & Reportsに集約し、公表した。  | A  |
| 基準10 地域貢献活動等の状況                      |  |  |    |
| 【地域貢献活動の体制】                          |  |  |    |
| 10-1 地域貢献活動の目的、方針は適切であるか。            | 地域貢献活動の目的及び方針が適切であるか確認する。  | 適切であると判断した。  | A  |
| 10-2 地域貢献活動の目的を達成するための体制は有効に機能しているか。 | 地域貢献活動の目的を達成するための方策等を委員会及び推進室会議において審議する。                             | 地域共同テクノセンター委員会及び同センター推進室会議を定期的に実施した。   | A  |
| 【地域貢献活動の状況】                          |  |  |    |
| 10-3 地域貢献活動は十分に行われているか。              | 地域貢献活動の状況を把握する。  | U-16 プロコン山口大会及び事前講習会を実施した。早期に計画し各所へのPR活動を行った結果、9社の協賛企業を獲得するとともに、作品部門の参加者が増加した。<br>また、公開講座3件、市民文化サロン3件（2件のべ5日間実施済、1件3月実施予定）に加え、宇部祭りへの出展や夏休みジュニア科学教室を実施し、前年度より実施件数が倍増した。 | S  |
| 【地域貢献活動の成果】                          |  |  |    |
| 10-4 目的、方針に沿った地域貢献活動の成果が得られているか。     | 本校の目的に沿った地域貢献活動の成果であるか確認する。また、成果は地域共同テクノセンターNews & Reportsに集約し、公表する。 | 地域共同テクノセンター委員会において、研究活動の集約結果を提示し、本校の目的に沿っているか確認した。また、成果は地域共同テクノセンターNews & Reportsに集約し、公表した。  | A  |